

臨床研究に関する情報の公開

作成日：2026/8/26

研究課題名	術後低ナトリウム血症予防に対する厳格な飲水指導の有用性
研究の対象	これまでに、下垂体腫瘍に対して、経蝶形骨手術を受けられた患者さん。認知障害、意識障害、術前副腎機能低下症例、尿崩症の患者さんは除外する。
研究目的	下垂体腺腫など下垂体腫瘍に対する経蝶形骨手術では、術後 5-14 日の期間に、一過性の低ナトリウム血症を合併することがある。この原因としては、下垂体ホルモン分泌低下による副腎不全や SIADH（不適切分泌による抗利尿ホルモン分泌過剰）などが考えられている。低ナトリウム血症の症状は、頭痛と嘔気、嘔吐であり、一度合併すると、回復に 1 週間以上を要する。この間の低ナトリウム血症に対する治療法は、飲水制限が主体である。そこで、経蝶形骨手術後の患者さんに、厳格な飲水指導を行うことにより、低ナトリウム血症の合併が予防可能かどうかを検討する。2018 年 1 月以降の症例では、厳しい飲水指導を徹底する。飲水指導による発生予防効果と副作用について、検討する。
研究方法	下垂体腫瘍に対して、経蝶形骨手術を行った患者さんに対して、2 日毎に、ナトリウムなどの電解質を計測し、飲水指導を行う。具体的には、患者さんの喉の渇きを基準に、飲水量を判断していただく。2 日毎に検査するナトリウム値で飲水制限に関する指導を行う。さらに、術後、毎日尿量、飲水量、水分バランスを入院中に測定し、飲水制限の参考資料とする。また、術後の下垂体機能への影響と術後の電解質の変化を検討する。
研究に用いる試料・情報の項目 (例：血液、検査データ、診療記録等)	① 臨床症状、尿量や飲水量などの診療録記録 ② 電解質やホルモンなどの採血検査結果 ③ MRI や CT など画像検査による腫瘍の形状変化
研究期間	2018 年 6 月 1 日～現在研究継続中
外部への試料・情報の提供、取り扱いについて	原則、外部への試料・情報の提供は行いません。医療情報のデータの保管・管理は、特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。
研究代表者の氏名及び所属する研究機関の名称	北野 昌彦 社会医療法人寿会 富永病院 脳神経外科
研究責任者および試料・情報の管理責任者(共同研究の場合は研究代表者)の氏名及び所属する研究機関の名称	北野 昌彦 社会医療法人寿会 富永病院 脳神経外科
上記以外の研究機関の名称	
本研究に対するご質問などについて	本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としますので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。
ご質問のお問い合わせ先	社会医療法人寿会 富永病院 脳神経外科 北野 昌彦 〒556-0017 大阪市浪速区湊町 1-4-48 TEL:06-6568-1601 FAX:06-66568-1608 Email: mkitano@tominaga.or.jp 研究代表者 北野 昌彦